

科目名	理容技術理論	学科名	理容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1通
授業時数	120時間	単位数	4単位
授業方法	講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	秋山 美絵	実務経験のある 教員科目	○：該当 ○
科目概要	I. 技術実習と並行して技術基礎、特殊技術から機械器具の種類・特徴・目的など使用上の注意点を学ぶ。 II. 理容にたずさわる手技、ヘアデザイン・ヘアカット・ヘアセッティング・パーマ ネットセット・ヘアカラーリング・シェービング・エステ・クリニック・シャンプー&リンス・マッサージ・トリートメント・スカルプトリートメントの基礎を		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 理容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容技術理論1・理容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	授業態度・平常点・出席率等及び期末テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、国家試験合格のため積極的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目～第4回目	理容技術の基礎	理容理論を学ぶにあたって・理容技術 人体各部の名称・技術姿勢・トレーニング方法
第5回目～第8回目	理容用具	理容と用具・用具と衛生・刃物 理容道具(シザーズ・レザー・クリッパーなど)
第9回目～第12回目	ヘアデザイン	ヘアスタイリングとデザイン デザインの要素・ヘアスタイル
第13回目～第16回目	ヘアカット	観測法・カットの基本原則と一般的手順 スタンダードヘア・デザインヘア・レディースカット
第17回目～第20回目	ヘアセッティング	ヘアセッティングの種類・実際 レディースヘアのスタイリング
第21回目～第24回目	パーマネットセット	ワインディング・コールド二浴式ウェーブの一例 アイアニング・形状記憶デジタルパーマ
第25回目～第28回目	ヘアカラーリング	色彩の原理・染毛剤の種類と原理、安全性 ヘアカラーリング技術のプロセス
第29回目～第32回目	シェービング	シェービングの要件、種類、基本技術、プロセス メンズフェイス、ネックシェービング
第33回目～第36回目	理容エステティック	スキン・フェイシャル・ハンド・フットケア アロマセラピー
第37回目～第40回目	理容クリニック	ヘアクリニック・毛髪の基本知識 頭皮の基本知識
第41回目～第44回目	シャンプー リンス	シャンプーの方法・技法 リンス
第45回目～第48回目	理容マッサージ	マッサージの意義と効果・マニピレーション ヘッドマッサージ・クリニックマッサージ
第49回目～第52回目	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントの種類と一例
第53回目～第56回目	スカルプ トリートメント	スカルプトリートメントの種類と一例
第57回目～第60回目	国家試験対策	国家試験の合格へ向けた問題演習①

科目名	サロンマナー	学科名	理容師学科
分類	選択必修	配当年次・学期	1後
授業時数	30時間	単位数	1単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	関根 孝明	実務経験のある 教員科目	○：該当 ○
科目概要	理容師・美容師として必要不可欠な基本的サロンマナーを習得するため、見だしなみ・言葉遣い・電話対応の仕方・接客・カウンセリングなど、実務に即した内容を学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	実際のサロンにおいて、お客様との挨拶や日常会話から気配りなど、接客コミュニケーション能力の向上を目標とする		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター ビジネスマナー		
成績評価の方法 ・基準	出席率及び授業に対する姿勢を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	実社会で役立つ、生きた思考と技術を身につけるために、常に自ら考えるという習慣を備えてほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	社会人としての基本①	職場での基本モラル
第2回目	社会人としての基本②	職場での身だしなみ
第3回目	社会人としての基本③	職場での人間関係
第4回目	正しい動作①	あいさつ
第5回目	正しい動作②	基本動作
第6回目	言葉使い①	話し方・聞き方
第7回目	言葉使い②	敬語
第8回目	言葉使い③	人の呼び方
第9回目	接客の基礎①	接遇
第10回目	接客の基礎②	接客対応
第11回目	接客の基礎③	実践トレーニング
第12回目	電話対応の基礎	電話の受け方・かけ方
第13回目	一般常識	名刺交換・紹介など
第14回目	ロールプレイング①	サロンマナートレーニング
第15回目	ロールプレイング②	サロンマナートレーニング

科目名	理容実習	学科名	理容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1 前
授業時数	330時間	単位数	11単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	伊藤 智佳子	実務経験のある 教員科目	○：該当 ○
科目概要	<p>・スタンダードヘア・デザインヘア・ヘアセッティング・パーマネントウェービング アイアニング・ヘアカラーリングば基礎技術を習得する。 ・理容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニクに対応 できる為の実践技術を学ぶ。</p>		
到達目標 (目標検定・資格を含 む)	厚生労働大臣認定 理容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト 等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 理容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容実習 1		
成績評価の方法 ・基準	理容実習の出席率及び受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、技術の習得はウィッグ・相モデルでの施術を行います。自ら訓練し、資格取得に努力してほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目 ～ 第11回目	スタンダードヘア①	基本姿勢・姿勢の変化
第12回目 ～ 第22回目	スタンダードヘア②	スタンダードヘアカットの用具の持ち方と操作
第23回目 ～ 第33回目	スタンダードヘア③	ミディアムヘア・ブロー
第34回目 ～ 第44回目	デザインヘア①	デザインカットの用具の持ち方と操作 ブロッキング
第45回目 ～ 第55回目	デザインヘア②	デザインカットの基本パターン デザインカットの基礎技術・デザインカット
第56回目 ～ 第66回目	デザインヘア③	ストロークカット・チョップカット・レザーカット
第67回目 ～ 第77回目	ヘアセッティング①	基本セット
第78回目 ～ 第88回目	ヘアセッティング②	ドライヤーセット
第89回目 ～ 第99回目	パーマネント ウェービング①	アップシステム・ダウンシステム システムによる仕上がりの違い・良い例、悪い例
第100回目 ～ 第110回目	パーマネント ウェービング②	特殊ロッドによるワインディング スタイル別ロッド配列・プロセスにおける注意点
第112回目 ～ 第121回目	アイアニング①	持ち方と技法①
第123回目 ～ 第133回目	アイアニング②	持ち方と技法②
第134回目 ～ 第144回目	アイアニング③	アイアニングの手順
第145回目 ～ 第155回目	ヘアカラーリング①	白髪染め・おしゃれ染め・フロスティング
第156回目 ～ 第165回目	ヘアカラーリング②	ティッピング・ストリーキング フロントグラデーション

科目名	理容実習	学科名	理容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1 後
授業時数	360時間	単位数	12単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	伊藤 智佳子	実務経験のある 教員科目	○：該当 ○
科目概要	・シェービング・ハンドケア・フットケア・ヘアクリニック・シャンプーイング&リンシング ヘッドマッサージ・クリニックマッサージの基礎技術を習得する。 ・理容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニクに対応できる為の実践技術を学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 理容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 理容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容実習 2		
成績評価の方法 ・基準	理容実習の出席率及び受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、技術の習得はウィッグ・相モデルでの施術を行います。自ら訓練し、資格取得に努力してほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目～第12回目	シェービング①	シェービングの基本技術と要領
第13回目～第24回目	シェービング②	メンズフェイスシェービング
第25回目～第36回目	シェービング③	メンズネックシェービング
第37回目～第48回目	シェービング④	フェイシャルシェービング
第49回目～第60回目	シェービング⑤	レディースシェービング
第61回目～第72回目	シェービング⑥	スキンケア
第73回目～第84回目	ハンドケア	ネイルケア・ハンド&アームマッサージ
第85回目～第96回目	フットケア	フットケア
第97回目～第108回目	ヘアクリニック	ヘア&スキャルプチェック ヘアトリートメント
第109回目～第120回目	シャンプーイング&リンシング	スタンドシャンプー バックシャンプー
第121回目～第132回目	ヘッドマッサージ	ヘッドマッサージ
第133回目～第144回目	クリニックマッサー ジ	クリニックマッサージ
第145回目～第156回目	国家試験対策①	国家試験実技シミュレーション①
第157回目～第168回目	国家試験対策②	国家試験実技シミュレーション②
第169回目～第180回目	国家試験対策③	国家試験実技シミュレーション③

科目名	総合実習	学科名	理容師学科
分類	選択必修	配当年次・学期	1 前
授業時数	120時間	単位数	4単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	関根 孝明	実務経験のある 教員科目	○：該当 ○
科目概要	・理容実習及び理容技術理論を基に、サロンワークに対応できる実践基礎技術を学ぶ。 【ヘカッティング・パーマ・カラー・シェービング・シャンプー・ブロー・ヘアセットなど】		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	理容技術者として理容技術及び知識を、サロンワークで実践できることを目標とする		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 理容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容技術理論1・理容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	社会に出て、即戦力になるため自ら考え行動する技術を身につけ、学習してほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目～第8回目	サロン実践①	サロンワーク基礎 (挨拶・マナー)
第9回目～第16回目	サロン実践②	サロンワーク基礎 (ウェット・シャンプー)
第17回目～第24回目	サロン実践③	サロンワーク基礎 (セカンドシャンプー)
第25回目～第32回目	サロン実践④	サロンワーク基礎 (セット面での接客)
第33回目～第40回目	サロン実践⑤	サロンワーク基礎 (カウンセリング)
第41回目～第48回目	サロン実践⑥	サロンワーク基礎 (カッティング)
第49回目～第56回目	サロン実践⑦	サロンワーク基礎 (パーマテクニック)
第57回目～第64回目	サロン実践⑧	サロンワーク基礎 (ヘアカラーリング)
第65回目～第72回目	サロン実践⑨	サロンワーク基礎 (ブロー)
第73回目～第80回目	サロン実践⑩	サロンワーク応用 (ヘアセットイング)
第81回目～第88回目	サロン実践⑪	サロンワーク応用 (パーマアラカルト)
第89回目～第96回目	サロン実践⑫	サロンワーク応用 (カラーアラカルト)
第97回目～第104回目	サロン実践⑬	サロンワーク応用 (カット・刈上げ)
第105回目～第112回目	サロン実践⑭	サロンワーク応用 (オリジナル) ①
第113回目～第120回目	サロン実践⑮	サロンワーク応用 (オリジナル) ②

科目名	総合実習	学科名	理容師学科
分類	選択必修	配当年次・学期	1 後
授業時数	60時間	単位数	2単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	秋山 美絵	実務経験のある 教員科目	○：該当 ○
科目概要	・美容実習及び美容技術理論を基に、サロンワークに対応できる実践基礎技術を学ぶ。 【エステティック・マッサージ・ヘカッティング・パーマ・カラー・シャンプー・ブロー・ヘアセットなど】		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	美容技術者としてビューティ技術のスキルアップ及び知識の向上を目標とする		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 理容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容技術理論1・理容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	美容の授業で学んだ技術を、実社会で活かせるよう訓練してほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目～第8回目	総合実習①	エステティック基礎①
第9回目～第16回目	総合実習②	エステティック基礎②
第17回目～第24回目	総合実習③	エステティック基礎③
第25回目～第32回目	総合実習④	バックシャンプー①
第33回目～第40回目	総合実習⑤	バックシャンプー②
第41回目～第48回目	総合実習⑥	リアシャンプー①
第49回目～第56回目	総合実習⑦	リアシャンプー②
第57回目～第64回目	総合実習⑧	スキャルプマッサージ①
第65回目～第72回目	総合実習⑨	スキャルプマッサージ②
第73回目～第80回目	総合実習⑩	スキャルプマッサージ③
第81回目～第88回目	総合実習⑪	ネイル技術①
第89回目～第96回目	総合実習⑫	ネイル技術②
第97回目～第104回目	総合実習⑬	フットケア技術①
第105回目～第112回目	総合実習⑭	フットケア技術②
第113回目～第120回目	総合実習⑮	総合実習①